



新しいポンプ積載車の操作訓練を行う消防団員（10月6日、秋季総合訓練）

頼れる火消したちに大きな助っ人

**全自動動力ポンプ付
積載車 2 台が配備**

消防力の強化を図るため、町では第7部（脇野町）と第14部（鳥越）に全自動動力ポンプ付積載車を配備しました。

新しい積載車は、車から取り外し移動することが可能な可搬ポンプが取り付けられ、機動性が向上しています。これまでのポンプに比べ、単位時間当たりの水の流量が約2倍となり、消火能力が大幅に向上しています。



歌声、高らかに高原に響く



縄文クルミで町をアピール音楽発表終了後、のぎくコーラスの皆さんは、くるみキーホルダー（三島町交通安全協会婦人部作製）を配り、三島町をアピールしました。

町の「のぎくコーラス」の皆さんが、9月28日、中頸城郡妙高村で開催された音楽祭に参加、日ごろの練習の成果を十二分に発揮しました。

この音楽祭は、県内の音楽活動をしているグループや団体に発表の場を提供し、音楽愛好者の親ぼくをよろうと、国立妙高少年自然の家が主催したものです。当日はのぎくコーラスや地元妙高村の小中学校、アマチュアのバンドや合唱団に加えて、プロ団体2団体、総勢80人が、出演、詰め掛けた約350人の聴衆は、透き通る歌声や軽快なリズムに聞き入っていました。

力走する選手への熱い声援をお願いします

**町民
駅伝大会**

11/3



10時、みしま中央会館前をスタートします。町内一周、11区間を精鋭ランナーが力走します。ゴールは町体育館前です。

編集後記

▼すっかり秋めいてきました。山々の紅葉もまもなく見ごろとなりましょう。季節にはそれぞれ色があります。春は緑、夏はまぶしい青。そして秋はまぶしいような青さを埋めるかのような多彩な色、黄、赤、茶……。それでいて落ち着いた色。そして秋の色は一段と美しく燃えるので、冬は白モノトーンに。だから人はまた、春の色に。これ、待ちわびるのでしよう。

▼四季は文化を造りあげているといえます。「日本の文化は季節の文化だ」といわれています。年中、ほとんど衣服なしで暮らせる熱帯地方や、1年を通じてあまり気温の差のない地域などと違って、日本の国土は、はっきりと春夏秋冬の四季に差が表れます。そこに住む私たちは、この四季の変化に応じて生活し、それを楽しみ、そこで生産する植物・動物を食料として、独自の生活様式や文化をつくってきました。固有の文化をもつ民族はすべて、四季折々の行事をもっています。私たち日本人も、四季ごとに正月や盆などのたくさんの行事と、それに伴う作法を作り上げてきました。それらの行事を1年を通じてみてみますと、自然の変化を注意深く観察し、その中に人間の生活を営み続けてきた遠い祖先たちの生活の知恵と愛情がふれているのを、感じずにはいられません。

平成7年度決算決まる

一般会計 歳出 37億9,238万円 (前年度比 12.3%増)

特別会計決算額

国民健康保険

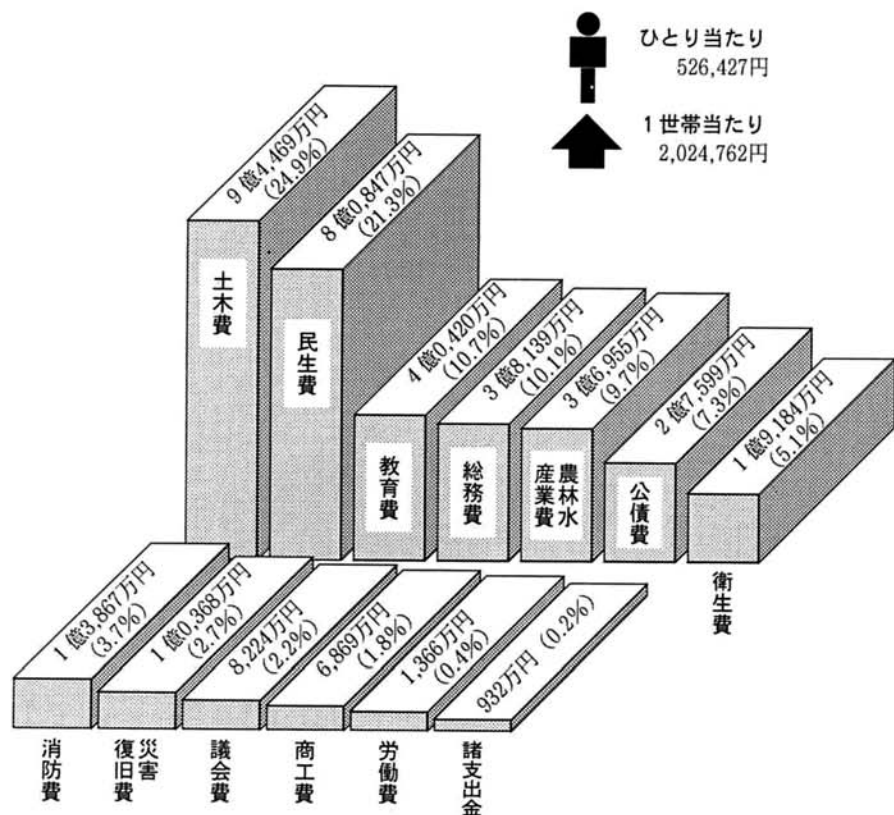
歳入	3億4,271万円
歳出	3億0,717万円
差引額	3,554万円

老人保健

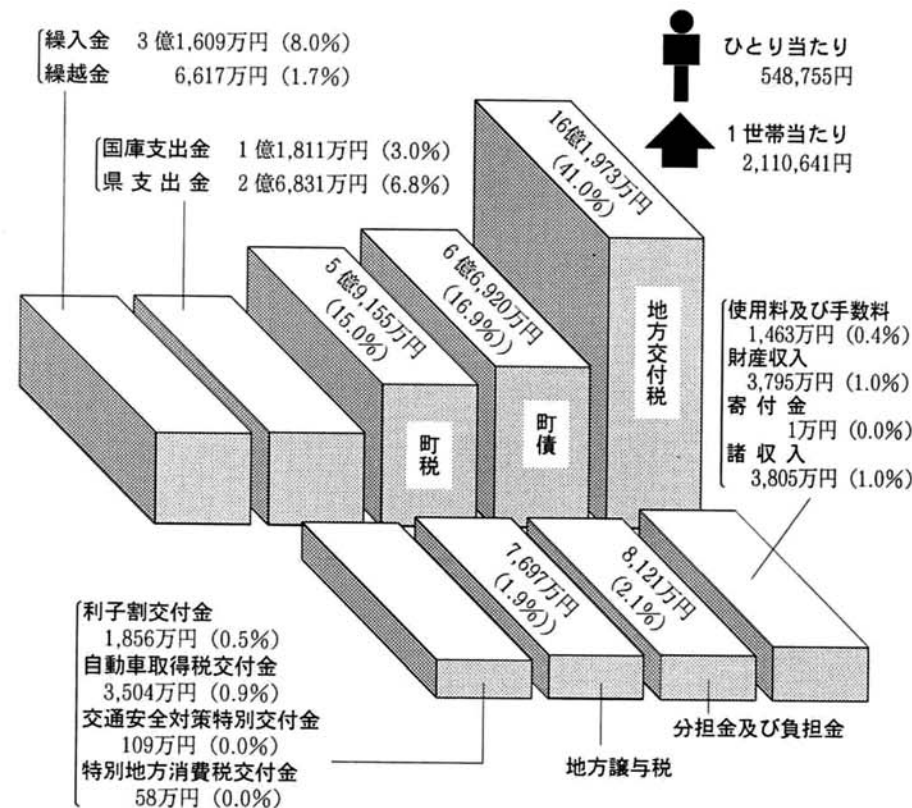
歳入	6億7,730万円
歳出	6億6,856万円
差引額	874万円

下水道事業

歳入	8億2,213万円
歳出	8億2,213万円
差引額	0円



歳入 39億5,323万円 (前年度比 12.9%増)



平成7年度の決算がまとまり、9月定例町議会にて認定されました。一般会計歳入総額は39億5,323万円(前年度比12.9%増)、歳出総額は37億9,238万円(前年度比12.3%増)となりました。決算額が前年度より増加した主な理由は、デイサービスセンターの建設、郷土資料館の内部整備、道路整備事業費の増、災害復旧事業などによるものです。

歳入歳出差引額は1億6,085万円となり、この額から6,000万円を財政調整基金に繰り入れ、次年度に繰り越すべき財源5,555万円を差し引いた4,530万円を8年度に繰り越しました。

入 中央団地への転入者増で 固定資産税が増加

町税は、調定総額5億9,167万円に対して、収入済額は5億9,155万円、12万円の未納を生じました。

税目別では、中央団地等への転入者の増により町民税が対前年16.0%増、固定資産税が4.8%増となりました。

地方交付税は、収入済額16億1,973万円(前年度比8.2%増)となりました。なかでも、7月と8月の2回に及ぶ豪雨災害に係る特殊事情が勘案され、特別交付税が前年度に比べ29.6%増(1億4,084万円)となりました。

国、県支出金は、3億8,642万円、主なものとしては、災害復旧関係で3億2,305万円、デイサービスセンター及び在宅介護支援センターの整備事業関係で1億2,168万円、農村総合整備モデル事業補助金5,850万円などです。

繰入金では、財政調整基金より3,071万円を取りこずし、災害復旧事業の平成8年度事業

町税は、調定総額5億9,167万円に、収入済額は5億9,155万円、12万円の未納を生じました。

町債では、デイサービスセンター建設で1億1,000万円、県営ほ場整備事業で1億2,140万円、中央公園と居住空間整備事業で1億2,270万円、災害復旧事業で4,910万円、その他町道整備、大杉公園、消防施設、住民税等減税補てん債等7億1,410万円の借入れを行いました。ただし、この中には、前年度からの繰越明許費に伴う借入れが9,220万円含まれており、又災害復旧債のうち4,260万円は平成8年度で借り入れることとなります。

出 住みよい町づくりに 財源を効果的に配分

歳出予算の執行にあたっては、一般行政経費の節減合理化に努め、限られた財源の効率的な使用に意を用いて執行しました。

歳出を科目別にみると、総務費では、基金積立金の減少がありますが、合併40周年記念事業費あるいは街路灯設置工事などで総額では、対前年度1.4%の増となりました。

民生費では、デイサービスセンター、在宅介護支援センターの建設、協野町保育園の閉園に伴う北部保育所の増築などによって、総額8億0,847万円の決算となり、対前年度93.8%の増の伸びとなりました。

衛生費では、長岡地区衛生処理組合負担金が減少したことなどで3.4%の減、農林水産業費は、前年度からの繰越明許費(県営ほ場整備、農村総合モデル)で1億1,873万円の支出があり、また農村総合整備モデル事業費の減などで、全体で7%の減となりました。

公債費は、昨年度9,076万円の繰上償還を行い、本年度は通常の元利償還金で2億7,599万円の支出となり、23.7%の減となりました。

10.8%の増、商工費は、三島まつりみこし購入と子供みこし補助金の増などで15.7%の増、土木費は三十刈線など道路新設改良費の増、下水道事業特別会計繰出金の増などで16.2%の増、消防費は、コミュニティ消防センターなど消防施設費の増で7.4%の増、教育費は、昨年度日吉小学校屋内体育館の建設が終了し、本年度は郷土資料館の内装工事を実施しましたが、全体では28.6%の減、災害復旧費は、平成7年7月及び8月の豪雨災害による復旧事業費が約5億円必要となり、このうち本年度1億0,368万円支出し、翌年度へ3億9,239万円を繰越明許費として繰り越しました。

平成7年度に実施した主な事業を次ページに掲載

こんな事業を行いました

平成7年度の主な成果

産業の振興



整備された集落道3号線

農業基盤の整備については、平成6年度から当町南部地区において県営ほ場整備事業の担い手育成基盤整備事業が実施されていますが、7年度は、6年度からの繰越事業を含めて、総額で約16億円の事業費で、面積整備178ヘクタール、暗

渠排水39・9ヘクタールを実施しました。また、これに関連して、ふるさと農道の路盤工事を2,000メートルにわたって実施しました。

農村総合整備事業では、七日市から鳥越にかけての集落道3号線約1,000メートルのうち、約700メートルが完了しました。商工業の振興については、商工振興事業補助金をはじめ、緊急不況対策特別融資の継続などによって商工業の活性化を図りました。



キャッチフレーズは「木と道具と匠たち」郷土資料館内部整備事業費 6,994万円

教育・文化施設の充実

町の文化遺産の保存とPRのため、みしま中央会館2階を郷土資料館として内部を整備しました。資料館の内容としては、当町が全国四大産地の一つとして知られている手引鋸を主体と

して、当町の西部丘陵一帯の森林地域から生産される豊富な木材、そして、これから発達した宮大工の技術などの歴史をひもときながら展示しました。教育施設の整備では、脇野町小学校の校舎改築を間近に控えていますので、7年度は、全体の青写真を作成するため基本設計コンペを実施し、長岡市の長建設計事務所の基本設計を採用することに決定しました。また改築の財源確保のため、教育施設整備基金へ1億円を積立て、平成7年度末の同基金の保有額を4億0,625万円としました。



第14部(鳥越)消防コミュニティセンター 事業費 922万円

生活関連施設の整備

町民の生活に直結する道路整備や各地域における公共施設の整備については、毎年積極的に推進していますが、7年度は、町道関係では大津山手12号線(蓮脇線)、長岡地区衛生処理組

合鳥越事業所へ通じる鳥越三十刈線の改良工事を実施し、その他日吉小学校周辺道路やデイサービスセンター道路など施設の整備に関連する道路整備を含めて道路新設改良費に2億8,000万円を投入しました。町中心部の湛水防除対策については、国、県に強く働きかけ公共下水道の雨水対策事業として平成8年度から調査設計に入り、早急に事業を実施する予定となっています。消防関係では、防火水槽2基、コミュニティ消防センター2棟を整備し、消防力の強化を図りました。

デイサービスセンターの建設と福祉保健の充実



デイサービスセンターでは、お年寄りが楽しい1日を過ごしています。 8年3月30日完工 事業費 3億3,207万円

在宅福祉の拠点となるデイサービスセンター及び在宅介護支援センターを建設しました。施設の概要は、定員15人規模で、鉄筋コンクリート造り、2階建延床面積1,098平方メートル、1階には、訓練室や浴室、相談室及び食堂など、2階は、介護教育室、会議室となっています。特に、在宅介護支援センターとは、専門員の配置、在宅介護品展示スペースの確保など、在宅介護機能の充実に配慮した施設です。施設の運営は、長岡三古老

人福祉会に委託し、平成8年4月1日から開設しており、利用者から大変喜ばれています。児童福祉では、昭和27年に開設された脇野町保育園が、平成7年3月31日をもって閉園されたため、町立北部保育所に保育室を2棟増設して児童を受け入れられました。保健衛生面では、老人保健事業として健康教育、健康相談、健康診断等を徹底し疾病の早期発見と健康づくりを推進しました。また、歯の健康で当町が県のモデル地区として地域保健推進特別事業の指定を受け、丈夫な歯づくりを進めました。廃棄物対策では、平成7年4月から長岡地区衛生処理組合鳥越事業所の粗大ごみ処理施設が稼働したことに伴い、逆谷地区の不燃物処分場は不燃物の搬入が必要となったため、同処分場の変更工事と環境の整備を行いました。

ふるさとづくり事業の推進



新しい町のシンボル、中央公園 事業費 2億3,598万円

前年度からの継続事業で実施した中央公園と居住空間整備事業は、7年度完了しましたが、中央公園は、中央区画内に約1・5ヘクタールの公園を設置し、町民バザール広場や中央広場あるいは子供の遊び場を設けて親しみやすい公園として利用されています。また、黒川堤防沿いにさくらづつみ植栽を行い、中央区画幹線道路の街路樹と照明灯の整備によって安らぎのある歩行空間と調和のとれた居住空間が確保されました。さらにこの事業の一環とし

て、町中心部の市街化区域内幹線道路に街路灯を設置し、町並み景観整備を図りました。次に、7年度は三島町合併40周年の節目に当たったことから、記念事業として三島まつりを盛り上げるため大人みこし2基を制作し、子どもみこし14基の各大字への助成を行いました。また、11月には合併記念式典や全国みしまと名のつく市町フェアの開催など盛大に記念行事を催し、都市間交流や地域の活性化を図りました。



▲ 熱烈な声援をおくる応援席



▲ 追いつ、追われつのリレー



▲ 大接戦が続いた大玉送り



◀ 力強く選手宣誓した古井丸くん



▶ 時間無制限、決着がつくまで続けられた綱引き



◀ 保育所児童のかわいい「おゆうぎ」

Photo Album

熱戦

平成8年度 町民体育祭



▶ おばあさん、手を使うのはルール違反では？



町のスポーツの祭典「町民体育祭」が、さわやかな秋晴れとなった9月29日、盛大に行われました。

会場の脇野町小学校グラウンドでは、朝早くから各チームの役員の方々が準備したテントがずらりと並び、開会式では、前回（6年度）優勝の七日市チームの古井丸さんが選手宣誓を行い、熱戦の火ぶたが切っておとされました。

これまでの猛暑の時期から過ぎしやすい秋のスポーツ日和に開催日が移ったこともあり、子どもからお年寄りまで、参加した多くの町民がハッスルプレーを見せてくれました。

各チーム実力伯仲の接戦を繰り広げた結果は次のとおり。

優勝 気藤宮チーム
2位 吉川Aチーム
3位 七日市チーム
4位 天津チーム
5位 吉崎チーム
6位 脇野町Bチーム



▲ 優秀競技者の表彰を受ける小熊さん（写真上）と大島さん（写真下）

町長賞
優秀競技者を表彰
閉会式で、平成7年度町長賞及び優秀競技者賞の表彰が行われ、それぞれ次の団体、個人が表彰されました。

★平成7年度町長賞
（スポーツ振興優秀地区）
大字 上条

★優秀競技者賞（敬称略）
*小熊 要（宮沢）
空手道 第6回国際親善ヨーロッパ選手権大会 日本代表

*大島 春香（脇野町）
第15回県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会 県大会小学生低学年の部出場

*三島ジュニアバレーボールクラブ（小方由美、伊藤恵理香、田中淳子、片桐梢、小熊理絵、難波由香理、山田直美、安達真悠美、関郁美、山田亜美、村山香奈子、安達貴美枝以上12名）
第15回全国小学生バレーボール大会 県大会出場



▲ さあ、どっちの人数が多い。
◀ 途中下車（平均台から落ちる）した人もあった「満員電車」



トピックス

まちかどトピックスでは、町政の動きや町の行事・話題を紹介し
ます。
あなたの身近なところに話題が
ありましたら、役場広報担当へ連
絡ください。

町功労者を表彰 平成8年 町ほう賞

町政発展に功績のあった人を
表彰する平成8年町功労者受彰
式が9月18日、役場で行われま
した。
永年のご労苦に対して町長よ
りねぎらいの言葉があり、受彰
者には表彰状と記念品が贈られ
ました。
受彰者は次のとおり。
■特別功労賞
●河内 忠彦氏(脇野町)
三島町長を2期8年にわたり
務められました。
●ほう賞
●小林 勇司氏(瓜生)
町議会議員を2期8年、三島
ほ場協議会長、都市計画審議会
委員を務められました
●山田 保雄氏(気比宮)
体育指導委員を21年務められ
ました。
●河内 忠彦氏(脇野町)
町発展のため多額の寄付をさ
れました。



平成8年三島町功労者受彰式
左から小林勇司、河内忠彦、2人おいて山田
保雄の各氏

いつまでもお元気でいてください

町敬老会 開催される

お年寄りの長寿をお祝いする町主催の敬老会
が、9月15日、みしま中央会館で行われました。
敬老を祝うような晴天の中、町内全域から310
人余りの元気なお年寄りが出席されました。
式では、木戸町長のお祝いのあいさつの後、
今年99歳(白寿)を迎えられた小川寅三郎さん
(脇野町)、満95歳の渡邊トクさん(みしま園)、
満88歳(米寿)の池田ハルさん(鳥越)へ、そ
れぞれ代表として長寿をたたえる祝い状と記念
品が、町及び県から贈られました。
なお、小川さんの他、青柳サツキさん(鳥越)、
小熊トヤさん(藤川)のお二人が今年99歳を迎
えられ、来年度には2年振りに新規100歳の方の
誕生が期待されます。
(三島町の100歳以上の方は、101歳の女性1人で
す。)



快適な住まいで、人づくり 教職員住宅を建設



老朽化していた脇野町日の出
町の教職員住宅が、改築されま
した。
新しい住宅は、単身者用2戸
用2棟で、外観は藍色のモダン
な建物です。間取りは2DKで、
全室フローリング仕上げの洋室
となっています。高床式で車庫
を備えており、冬期間も入居し
やすくしています。
▼教職員住宅改築工事
設計 デザインルーム・
アベニュー
請負業者 (株)山長組
請負金額 3,323万円
工期 自 6月13日
至 9月20日

中学校でもフッ素洗口

健康歯づくり日本一運動

中学生になってから生える奥
歯をむし歯から守るため、7月
から中学1年生を対象にフッ素
洗口を始めました。
三島町では、昭和49年から保
育所、小学校児童に対してフッ
素洗口を実施し、永久歯のむし
歯の少なさは県内でもトップラ
ンクにあります。それを中学
生にまで延長しようというもの
です。

フッ素洗口の効果と安全性

フッ素洗口は、フッ素の入っ
た液で1分間ブクブクうがい
を行う、永久歯のむし歯予防法で
す。フッ素洗口を継続して行う
と永久歯の表面がフッ素でコー
ティングされ、むし歯がほとん
ど発生しない効果があります。
また、前歯のむし歯の発生も
ほとんどなくなるという効果も
あります。現在県内112市町

村のうち、89市町村で実施され、
実際にむし歯の数が減っていま
す。
フッ素は一度に多くの量を飲
むと急性中毒(おう吐・悪心な
ど)を起こす可能性があります。
われ、体重20キログラムの子ど
もの場合、一度に40ミリグラム
以上のフッ素を摂取したときに
急性中毒の症状が現れるといわ
れています。

しかし、当町で行われている
フッ素洗口は、1回あたり数ミ
リグラムのフッ素が入った液で
行うもので、万が一1人分の洗
口液を飲み込んでも、問題とな
る症状は現れない微量な量となっ
ています。

フッ素洗口は希望制

フッ素洗口は、全児童・生徒
に強制して行うものではなく、
保護者の同意を得て、あくまで
も希望制で行うものです。経費
はすべて町の負担となります。
希望者は無料で受けられま
す。



第24回

三島町産業まつり・健康歯っぴー展

とき 11月3日(文化の日) 午前9時～午後3時30分
ところ 役場前広場



農林業、商工業と町の産業界が日ごろのご愛顧に感謝し、開催する産業まつりがやってきました。
農林産物品評会、農協の菊花展、秋野菜即売、森林組合の木工教室、商工会、ガス企業団等による出店特売市や展示会、さらに各協力関係団体のたくさんの催しがあります。
「カラオケ大会」や「踊り」「民謡」「悠久太鼓」「1本うどん早食い」などイベントを計画しています。
健康歯っぴー展では、「歯のクイズコーナー」や「おやつ試食コーナー」「良い歯コンクール」などのコーナーを予定しています。
多数ご来場ください。皆様のおこしをお待ちしております。

中国帰国者身元引受人の募集について

新潟県福祉保健課
☎025-285-5511
厚生省では、日本に永住帰国する中国残留邦人(中国残留孤児及び中国残留婦人等)とその家族の身元を在日親族に代わって引き受け、帰国後の定着自立に必要な相談・助言を行っていただく身元引受け人を募集

一般

オリジナル年賀はがき 11月2日から販売

企画調整課 内線322
町では、脇野町・日吉岡郵便局のご協力により、今年もオリジナル年賀はがきを11月2日から発売します。
図柄は昨年の「丸太早切り選手権大会」「西山連峰登山マラソン大会」「町の花カタクリ」「早春の三島の風景」の4種類となります。
三島町を広く知っていた



全国丸太早切大会

だくため、皆様のご利用をお願いいたします。発行枚数に限りがありますので、購入希望の方は早めにお求めください。



西山登山マラソン

してきます。
帰国者世帯の置かれている立場と今後日本社会で自立していく上での苦労を御理解いただき、一人でも多くの方から身元引受人に応募していただけますようお願いいたします。

資格

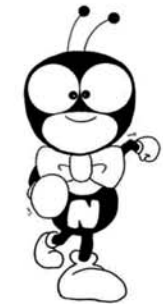
中国残留邦人のうち、身元未判明孤児及び近親の在日親族がない等の特別の事情により帰国できない特別事情残留邦人世帯構成員及び肉親の置かれている立場に理解を有し、特別事情残留邦人世帯が帰国した場合、日本社会に早期に定着するための指導に熱意をもってあたることができること。
▽身元引受け期間
○中国帰国者定着促進センターを退所した日から3年以内
○定着促進センターに入所しない場合は、帰国した日から3年以内
▽手当
月額 23,000円

軽自動車の申請・手続き
検査のテレホンサービス

軽自動車(3輪・4輪)の各種申請手続きや検査関係、ユーザー車検予約システム(ユーザー車検の予約、確認、取り消し)などの案内を、ご家庭の電話やFAXから24時間受け取ることができます。軽自動車検査協会テレホンサービス ☎025-272-5551

投票は住民参加の基本です

新潟県知事選挙 10月20日(日)は衆議院議員総選挙の投票日です 最高裁判所裁判官国民審査



世代と世代の助け合い
国民年金
福祉課 内線234

●第三号被保険者の届出を忘れていた皆さんへ
特例的に届出ができません
厚生年金や共済組合に加入している配偶者に扶養されている人は届出することにより、第三号被保険者となります。
ところが、届出がされていなかったり、届出がされていても2年以上遅れて届出したために、保険料納付済期間に算入されない第三号被保険者期間のある人がいます。
そのため、老齢基礎年金を受ける時になって、低い

額の年金しか受けられなかったり、受給資格が満たせずに、年金そのものが受けられなくなる場合があります。過去の未届であった第三号被保険者期間について、平成9年3月までに特例の届出を行うことができます。届出は忘れずに行いましょう。
●10月・11月は「国民年金制度推進月間」です
11月6日から12日は「年金週間」です
本格的な高齢社会を目前にして、国民年金制度の趣旨やしくみを正しく理解していただくため、新潟県では毎年10月・11月を「国民年金制度推進月間」と定めています。
推進月間中は県内各地で年金相談も開設されます。日ごろ、国民年金について疑問に思っていることや、皆さん自身の年金について、ぜひ、ご相談ください。年金をもっとよく知るチャ

ンスです。
また、国民一人ひとりに年金制度に対する信頼と愛着を深めていただくために、11月6日から12日までを全国的に「年金週間」と定めています。皆さんもこの機会に、年金について考えてみませんか?
『明日のあなたを考えると、年金はあなたが主役です』

戦傷病者の妻の方に特別給付金支給

福祉課 内線234
●特別給付金国債の最終償還を終えた戦傷病者等の妻の方に、改めて特別給付金の国債が支給されます。
●平成5年3月31日までに夫である戦傷病者等が死亡した場合死亡原因により次の特別給付金が支給されます。
○傷病恩給等受給の原因
疾病により死亡した場合
―戦没者の妻に対する特別給付金
○普通の病気で死亡(平病死)した場合
―戦傷病者等の妻に対する特別給付金

人事

※請求手続きや金額等詳細な内容につきましては、福祉課までお問い合わせください。
固定資産評価委員に
新保氏、遠藤氏が再任
税務課 内線250
任期満了となる固定資産評価委員の遠藤鐵四郎(鳥越)、新保進四郎(脇野町)の両氏が、再任されました。任期は遠藤氏が9月25日から、新保氏が10月7日からそれぞれ3年間。
役場職員の変動
総務課 内線310
10月1日付けで次のとおり役場職員の変動がありました。
(一)内は前所属(職)
▽異動 総務課長 棚橋均(議会事務局長)・議会事務局長 北原功(総務課長心得)・総務課 佐藤高弘(収入役室)・収入役室 五十嵐良子(総務課)

労働保険
働くみんなの安心保険

10月は労働保険適用推進月間です。事業主のみならず、労働者の加入はおすすめですが、労働保険とは、雇用保険+労災保険です。労働保険は労働者を1人でも雇用している事業主は必ず加入しなければなりません。労働保険の加入手続き等詳しいことは、長岡労働基準監督署 ☎33-8711

役場からのお知らせ

☎ 42 2221

町民カレンダー 10月^{17日}～11月^{15日}

町のすがた
(10月1日現在)

人口	男	3,472人(+7)
	女	3,749人(-4)
	計	7,221人(+3)
世帯数		1,892(+3)
(*)は9月1日との比較		



— □ MEMO ⑮

初めて入れ歯をいれる方へ

新しく入れ歯を作って入れて場合、唾液の出る量が多くなったとおっしゃる方がおられます。

入れ歯を入れると唾液の分泌量が増えるのは、入れ歯にまだ慣れておらず、入れ歯を入れた時に行われる口の運動が、口あたり(感覚)、すなわち入れ歯の機械的接触が、唾液の分泌を促す刺激として作用するからです。

入れ歯を使用し始めてから、数日ないし数週間は唾液の分泌量は増大する傾向が見られます。これは一時的なものですから、唾液を自然に飲み込むことを繰り返していると、だんだんと分泌量は正常に戻ります。

このように、口の中の状態だけでなく、顎の骨や歯肉も常に変化しています。入れ歯を入れたら定期的に歯科医院で調整してもらい、お口の中を快適で、健康な状態に維持できるよう心がけてください。

三島町健康な歯づくり推進委員会

保健行事のおしらせ



対象	内容	日時	会場
H8.7～8月 出生児	乳児相談	11月28日(木)受付 9:00～9:15	保健センター
H8.1～2月 出生児			
H7.10～11月 出生児	お誕生歯科健診	11月6日(木)受付 13:15～13:30	
H7.2～5月 出生児	1歳6か月児健診	11月6日(木)受付 13:30～13:45	
H8.1～6月 出生児	ツベルクリン反応	11月12日(木)受付 13:45～14:30	
H8.1～6月 出生児	ツ反判定 BCG	11月14日(木)受付 13:45～14:30	

〈お知らせ〉3～4か月乳児相談の時、乳児健診無料券、神経芽細胞種検査セットをお渡しいたしますので、必ずおいでください。

17 木 リハビリ 13:00～ みしま園
三古郡老人スポーツ大会 三島町体育館

27 日 長岡地域広域圏バレーボール合同練習会
8:30～ 北銀体育館

18 金 ふるさと講座・社会見学 8:00～ 柏崎方面
精神保健相談会 14:00～ 保健センター
統計の日

28 月

19 土 与板町三島町錦鯉品評会 13:30～
与板町役場前広場

29 火 心配ごと相談 13:30～ 役場相談室

20 日 新潟県知事選挙
衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査
三島中学校文化祭

投票日
午前7:00～
午後6:00

30 水



21 月 ぬくみ会小旅行 10:00～ 和島村健康センター
女性セミナー〈夜の部〉19:30～ 交流センター
胃癌検診 8:00～10:00 保健センター
結核・肺癌検診 9:00～11:00 保健センター

31 木

22 火 高齢者リハビリ 8:30～ 保健センター
心配ごと相談 13:30～ 役場相談室
糖精密検診 8:00～ 交流センター

11. 1 金 女性セミナー〈昼の部〉13:30～ 交流センター
芸術セミナー〈写生会〉8:00～ 魚沼方面

23 水

2 土 日吉小学校文化祭



24 木 プレー教室 9:00～
リハビリ 13:00～ みしま園
女性セミナー〈昼の部〉13:30～ 交流センター
骨検診結果説明会 13:30～ 保健センター

3 日 文化の日
第24回三島町産業まつり 9:00～15:30 役場前広場
町民駅伝大会 10:00～ 中央会館前スタート
(ゴールは町体育館前)

25 金

4 月 振替休日
全国糖尿病週間 ～10日

26 土 原子力の日



5 火 心配ごと相談 13:30～ みしま中央会館
女性セミナー〈夜の部〉19:30～ 交流センター

生活ダイヤル ガス企業団 水道企業団 みしま中央会館 みしま交流センター
42-2671 72-2259 42-2222 42-2223

6 水 年金週間 ～12日

7 木 リハビリ 13:00～ みしま園

8 金 女性セミナー〈昼の部〉13:30～ 交流センター
ふるさと講座 19:30～ 交流センター

9 土 119番の日



10 日 技能の日

11 月 女性セミナー〈夜の部〉19:30～ 交流センター
税を知る週間 ～17日

12 火 心配ごと相談 13:30～ 役場相談室

13 水 骨健診 9:30～10:30 交流センター
13:00～13:20 上条公民館
14:00～14:20 下河根川センター
15:00～15:20 鳥越センター

14 木 女性セミナー〈昼の部〉13:30～ 交流センター
リハビリ 13:00～ みしま園

15 金 七五三



目の不自由な人に愛の光
アイバンク

アイバンクは角膜を提供して下さる方にあらかじめ登録をお願いし、角膜が提供する人から受け取る人へスムーズに渡されるようあつせんするところです。問い合わせ先=財団法人新潟眼球銀行(新潟県福祉保健部健康対策課内) ☎025-285-5511内線2655